

令和 5 年度

事業者番号	4006	事業所番号	400600
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	角栄ガス株式会社 埼玉サービスセンター	前年度における事業所数	4
代表事業所所在地	市区町村	川越市伊勢原町	
	字・地番	2-14-4	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	34 ガス業		
分類番号(中分類)	34		
事業活動の概要	事業内容：都市ガス供給業 従業員数：12人		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	0.0173 t-CO ₂ /千m ³
	平成30年度エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位：0.01734t-CO ₂ /千m ³ に対し、令和6年度末までに5%削減します。					
	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	角栄ガス株式会社 埼玉サービスセンター	川越市伊勢原町2-14-4
2	霞ヶ関供給所	川越市的場新町21-3
3	西坂戸サービスステーション	坂戸市西坂戸3-8-9
4	東小川サービスステーション	比企郡小川町東小川5-6-3
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	40	38	39		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	基準	計画期間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂		79	74	77		
前年度比 (%)		—	-6.3	4.1		
基準となる排出量に対する削減率 (%)						
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		79	74	77		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	基準	計画期間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	0.0173	0.0174	0.0159	0.0164		
前年度比 (%)		—	-8.8	2.9		
基準となる原単位に対する削減率 (%)		-0.5	8.3	5.6		
活動規模の指標	単位					
販売量	千m ³	4,533.00	4,654.00	4,706.00		

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言中の事務所の一部休業、営業時間短縮により、事業所で消費するエネルギーが前年比3%減少したことが排出量の減少につながったものと考えられる。
令和3年度 (2021年度)	比較的電力使用量の多い外灯をLED化した事や24時間稼働しているサーバーの台数を削減した事による本体及び空調稼働率の低下が電力量の減少につながり排出量の削減につながっているものと考えられる。
令和4年度 (2022年度)	新型コロナウイルスからの緩やかな回復により、出勤率が増加した事により自社内のエネルギー使用量が増加したため、前年度に比べ排出量が増加したものと考えられる。
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	150300	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の 管理	パソコン全台入替による省電力化	R1以前	R1以前	0.1
2	120300	熱源設備・熱 搬送設備	12_運転管理及び効 率管理	営業車両の低排気ガス車両への順次入替	R1以前	R1以前	
3	130100	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和の運転 管理	残業時間削減による冷暖房及び照明の使用 量削減【第三計画期間も継続】	R4	R4	0.6
4	130100	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和の運転 管理	通年でオフィスカジュアルの導入による冷暖 房適正化【第三計画期間も継続】	R4	R4	0.2
5	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	東小川サービスステーションの構内及び駐 車場の照明をLED(タイマー付)に交換	R2	R2	0.1
6	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	霞ヶ関工場の構内、駐車場及び倉庫の照 明をLEDに交換	R3	R3	1.0
7	150300	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の 管理	既存システムのクラウド化によるサーバー稼 働台数の減少	R3	R3	5.0
8	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	西坂戸事務所棟のLED化	R4	R4	0.1
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄